

まほろば元気通信

co-op shizenha nara official newsletter vol.1164 2022.12.5

注文専用
ダイヤル

フリーダイヤル **0120-408-154**

携帯電話(無料通話プランなし) 0570-050-154

携帯電話(無料通話プランあり)・IPフォン 088-666-3321

受付時間▶ 月10:00~21:00 火~金8:00~21:00 土8:00~10:10

組合員
サービス
センター

フリーダイヤル **0120-408-300**

携帯電話(無料通話プランなし) 0570-063-008

携帯電話(無料通話プランあり)・IPフォン 088-603-0080

受付時間▶ 月~金 8:30~20:00

2022
vol.38/39
NARA

コープ自然派奈良/ 新センターへの道17

完成、そしてひっこし

11月5、6日会議室と託児室の壁塗り
11月11日国産材の机とイス搬入
11月12、13日引っ越し
11月14日から新センターでの業務開始&コープ
ブレッドファーム奈良工房で朝焼きパン開始

と無事引っ越し、新センターでの業務を開始することができました!工事関係者のみなさまはじめ、ここまでご協力いただいたみなさまに感謝いたします。

(2022.11.24)



外観



事務所



入口表札



会議室(活動室)

子ども笑顔基金プロジェクト 報告13

若者応援プロジェクト奈良 今年度活動状況

コープ自然派奈良子ども笑顔基金プロジェクトの寄付先のひとつである、若者応援プロジェクト奈良の活動状況をお知らせします。今年度は現在のところ3回のフードパントリーを行っています。

第1回(4月)奈良市が昨年購入したお米610袋(5kg)、ならコープ(農産加工センター)から提供されたリング37箱を5大学(奈良女子大、奈良佐保短期大学、奈良教育大学、奈良県立大学、奈良大学)に配布しました。アンケートから学生の皆さんが困っている状況がうかがえました。

第2回(7月)天理大学で120人分を配布しました。ウクライナからの学生さん3名もおられ、学生を取り巻く環境は依然厳しいことがあらためてわかりました。

第3回(9月)学校法人永井学園/奈良総合ビジネス専門学校で70人分を配布しました。日本語を学ぶために東南アジアから留学されています。奈良県共同募金会の助成金で購入したお米、ラーメン、ツナ缶とならコープから提供された農作物を配布しました。アンケートから野菜・果物・肉などの価格が自国の2~10倍との回答が多数あり、困ってる留学生の実態が明らかになりました。

(2022.11.24)

このプロジェクトは、組合員から「獲得したコープ自然派のポイントを寄付」していただき、そのポイントを対象となる方が受け取り、安心な食べものを利用するために使うことができる取り組みです。引き続き寄付にご協力をおねがいします。

寄付ポイント数(奈良) 330,411(11/24現在)

※奈良の組合員から寄付されたポイントを奈良での支援に使用。累計寄付410,411ポイント-使用済80,000ポイント。

寄付の方法

①すべてのポイントを寄付：注文番号 **999717**

②100ポイント単位で寄付：注文番号 **999724**
(例)注文数量「5」→500ポイントを寄付となります

③現金チャージで寄付：注文番号 **999816**
(例)注文数量「2」→200ポイントを寄付となります

※①すべてのポイントを寄付「**999717**」、③現金チャージで寄付「**999816**」は自動注文登録をすることで定期的に寄付していただくことが可能です。



事務局NEWS

今週ぜひチェックしてほしい
お知らせをお届けします。



お問い合わせの前に

組合員サービスセンターへのお電話が集中しつなかりにくくなって
おります。お問い合わせをいただく前にホームページの「よくあるご
質問」をご確認ください。



よくあるご質問
はこちら

キッチンカー出店情報

『クリスマスファミリーコンサート』

◎奈良県コンベンションセンター 12月10日(土) 11:00~16:00

『コフファンマルシェ』

◎天理駅前広場コフファン 12月11日(日) 9:00~14:00

『三輪はじまりマーケット』

◎桜井市:大神神社参道沿い駐車場 12月11日(日) 10:30~15:30

お友だち紹介キャンペーン

お友だちにコープ自然派を紹介すると、紹介した組合員さんと紹介されたお友だちに、10フレンド差し上げます。ご紹介特典の条件:フレンド獲得には、新しくご加入頂いたお友だちが、ご加入後2か月以内に、1万円以上(商品代金)のご利用が必要です。お友だち紹介をお待ちしております!!

私のおすすめ商品

『**神山鶏モモ肉**』鶏肉は、皮も脂肪も苦手でしたが、塩・コショウ控え目でステーキにしてもお肉の旨味に驚きました。

以降、自動注文で頼んでいます。(共済スタッフ 田中教子)



報告

プロから学ぶ!オーガニック家庭菜園講座①

■開催日:2022年9月28日

■場 所:橿原市 下八鈎町集会所

■主 催:かしはらオーガニック

新型コロナウイルス蔓延に伴う外出自粛や、世界情勢を背景とした食糧難への危機感から、自分の手で食べものを育てたい、できればオーガニックでの栽培に挑戦してみたいという人が増えています。そのような家庭菜園初心者に向けて、分かりやすく有機栽培の基礎を教えていただく講座を開催しました。講師は、ひらかた独歩ふぁーむ代表の大島哲平さん。大島さんは、とくしま有機農業サポートセンター第1期生です。「有機栽培」の対義語は「慣行栽培」です。つまり普通の栽培方法。病気や虫や雑草など、なにか問題が起こったときに薬に頼ることができる栽培です。それに対して、有機栽培は、農薬・化学肥料は使わない、遺伝子組み換え種子も使わないなど、慣行栽培に比べて自らできることを「制限」する栽培方法なので難しくなります。

「難しい」というのは、よりその植物に寄り添った管理が必要という意味であり、薬に頼らなくて済むように体力をつける、つまり丈夫な野菜をつくる必要があるという意味です。そのための下準備として、土づくりがとても大切になってきます。土壌微生物がたくさん生息し、空気と水をしっかり含むことのできるふかふかの土をつくるのに、農薬や化学肥料は向きません。長い目で見て植物や自然の摂理に則って持続可能な栽培しようとする、その方法として有機栽培が一番適しているということになるのです。

家庭菜園は、プロの農家の栽培とは違って失敗が許されます。失敗して当たり前という気持ちで、試行錯誤する豊かな時間をぜひ楽しんでください、というのが大島さんの提案です。半農半Xという概念を塩見直紀さんが提唱されはじめてのが約30年前。消費者がただ消費するだけでなく、少しでも生産に携わる重要性はますます高まっています。おいしい&楽しいオーガニックの輪を家庭菜園からも広げていけたらと思っています。【報告者: 上市佳織】



奈良の
コープ
自然派

Twitter



LINE@



Facebook



Instagram



商品企画希望フォーム

コープ自然派で扱ってほしい商品の希望をお聞きます。個別返信はできません。商品部に検討させていただきます。

<https://forms.gle/ecniGJX9LaDpwQh49>



◇自然派の野菜セット

<38号> 注文番号386

<39号> 注文番号334

1,080円(税込)

ぜーんぶ奈良県産! 奈良県農人連から鮮度バツグンで届きます。直近のお届けは、ほうれん草、小松菜、水菜、チンゲンサイ、リースレタス、青ネギです。



◇谷農園の野菜セット

<38号> 注文番号021135

1,080円(税込)

長年根強いファンをもつ、すべて無農薬の野菜セットです。直近のお届けは、赤大根・菊菜・スティックセニョール・かぼちゃ・じゃがいも・しろな 等



イベント情報
ホームページから簡単に
お申込みができます。

●イベントのお申込み方法

＜24時間受付＞ mail：eventnara@shizenha.co.jp

★件名には必ず「コープ自然派イベント申込」と記入の上、送信ください。

★3営業日を過ぎても連絡がない場合はサービスセンターへお問合せ下さい。

＜月～金8:30～20:00＞

フリーダイヤル：0120-408-300

携帯電話(無料通話プランなし)・IPフォン 0570-063-008

携帯電話(無料通話プランあり)・IPフォン 088-603-0080

【お願い①】 準備の都合上、イベント申込・託児のキャンセルは、前日までに必ずご連絡ください。
【お願い②】 お昼を越えるイベントでお子様に昼食をお持ちの際は「おにぎり」のみとして下さい。
アレルギーのお子さんが、他のお子さんの昼食を欲しがりますためです。ご協力お願いします。
【お願い③】 参加費はおつりのいらぬようにご準備ください。特に高額紙幣はご遠慮ください。
【お願い④】 企画の場を通して政治・宗教・ネットワークビジネスなどへの勧誘活動はお控えください。

▼お申込み時お伝えください。

- ①イベントID
- ②参加者氏名
- ③組合員コード
- ④参加人数
- ⑤連絡先
- ⑥託児（名前・年齢・性別）

イベントの受付は〆切日の17:00までです

託児の〆切はイベント〆切の1週間前です



マスク着用については施設のルールに従ってください。

New

エコな住まいZEH(ゼッチ)て何?まずは知ることから始めましょう

ネットゼロエネルギーハウス、略してZEH(ゼッチ)は、使うエネルギーと作るエネルギーを±0にする家づくりです。NPO 国産材住宅推進協会の中津 真さんを講師に迎え、高い断熱性能で夏も冬も生活しやすいZEH(ゼッチ)について実際の事例を紹介していただきながら、費用の事はもちろん、メリットデメリットを詳しく教えていただきます。ZEH(ゼッチ)の充実した補助金制度は賢い家づくりの一助にもなります。木のぬくもりのある暖かな家づくりと一緒に学びましょう!

■日時: 2023年1月11日(水) 10:00～12:00

■会場: オンライン開催

■講師: 中津 真さん(国産材住宅推進協会)

■参加費: 無料 ■定員: 100名 ■主催: 自然の住まい協議会 ■イベントID: 16223417

■申込み開始日: 12/12(月) 12:00より先着順 ※メールは同日午前0:00より

■申込〆切: 1/5(水) ※定員に達し次第、受付終了 ※メールでお申込みください。



メールで申込み

New

大和野菜「味間いも」を収穫しよう♪

里芋ってどんなふうに見えるか知っていますか?大きな親芋のまわりに小芋がたくさんくっついているのです。奈良の在来種「味間いも」は、白くてきめが細かくて、ねっとりしたとっても美味しい里芋です。泥んこの中からシャベルで「よいしょ!」と掘り出しましょう。親芋も食べられます。自分で掘ったお芋の味は格別ですよ♪

※大人は里芋一袋のお土産つき

■日時: 2023年1月14日(土) 10:30～12:30

■会場: 南檜垣営農組合の畑 ※集合場所はお申し込み頂いた方にお知らせします

■参加費: 大人300円 こども100円 (一般共) ※子ども=中学生以下

■イベントID: 16223418 ■定員: 20組50名程度

■持ち物: 軍手、タオル、お茶、シャベル(あれば)、持ち帰り用の袋、レジャーシート ■服装: 汚れてもよい服、長靴

■主催: 理事会(ふうど) ■申込み〆切: 1/6(金) ※応募者多数の場合抽選。

※締め切り後、参加できない人にだけ連絡します。連絡がない場合は参加できます。



メールで申込み

New

子どもビブリオバトル「あなたの推し本教えてください!」

ビブリオバトル、挑戦してみませんか?

ビブリオバトルとは、発表者が自分の「推し本」をみんなに紹介して、観覧者の投票でいちばん読みたくなった本を決めるイベントです。今回のテーマは「食!」食にまつわる本、食から連想する本など、あなたの推し本を教えてください!

①発表者: 小・中学生 8名募集

一人で発表に自信のないお子さんは家族と一緒に発表もOKです。発表方法は後日メールで連絡します。

②観覧者: 小・中学生・保護者など 22名 ※子どもゆめ基金助成を受けて開催します。

■日時: 2023年1月15日(日) 13:30～15:30

■会場: 生駒市図書館大会議室 (生駒市辻町238)

■協力: 生駒市図書館

■参加費: 無料 (一般共) ※子ども=中学生以下 ■主催: 北東和地区くらぶ連絡会 ■イベントID: 16223397

■定員: ①発表者8名(小・中学生) *メールでお申し込みください ②観覧者22名(小・中学生・保護者)

①か②のどちらに何名申込か、必ずご記入ください。 ■託児: なし。子ども・1才未満の同伴: 可。

■持ち物: 筆記用具・お茶・マスク *発表者はオススメする本を持ってきてください。

■申込み開始日: 12/12(月) 12:00より先着順 ※メールは同日午前0:00より ■申込〆切: 1/6(金) ※定員に達し次第、受付終了

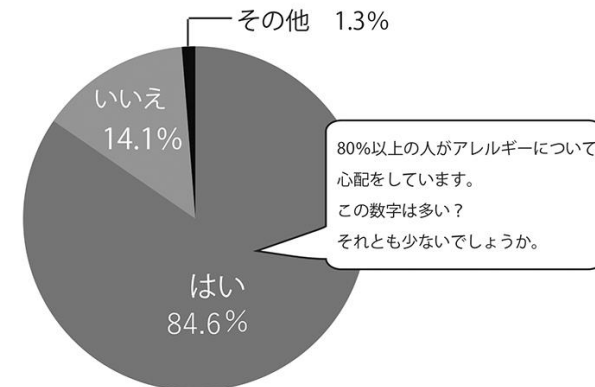


メールで申込み

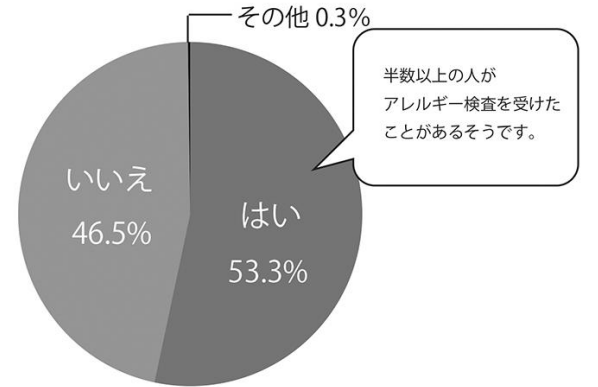
みらいアンケート 結果報告

2022年3月から4月にかけて「みらい」から「香害」「電磁波」「アレルギー」「化学物質」の4項目についてアンケートを実施しました。今月から月に1回ずつ報告していきます。

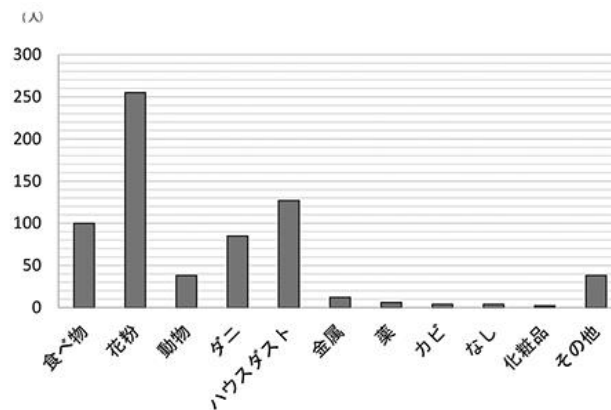
【アレルギー①】
「アレルギー」について心配に思うことはありますか?



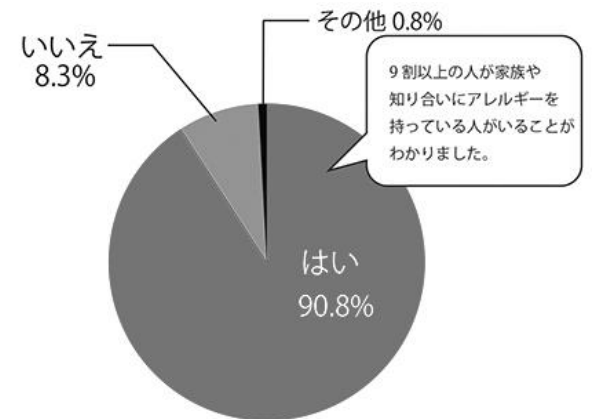
【アレルギー②】
「アレルギー」を調べる検査を受けたことがありますか?



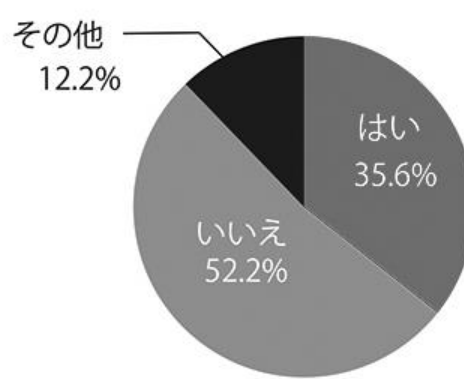
【アレルギー③】
どのような「アレルギー」をお持ちですか?



【アレルギー④】
家族やお知り合いに「アレルギー」を持つ方はいますか?



【アレルギー⑤】
「アレルギー」検査では検出されない「アレルギー」はありますか? (例えば化粧品かぶれなど)



＜みらい担当から一言＞

アンケートへのご協力ありがとうございました。
「アレルギー」を持つ人が身近にいる人は9割以上いることから、わたしたちの生活は「アレルギー」について考える機会がとて多いことがわかります。
厚生労働省のホームページ(※1)には「喘息」「アレルギー性鼻炎」「アトピー性皮膚炎」「食物アレルギー」の患者が増加傾向にあり平成23年の報告書では国民の2人に1人が何らかのアレルギー疾患に罹患しているとしています。
みらい担当では組合員活動の中で「アレルギー」について勉強会を開催していけるといいなと考えています。
※1: リウマチ・アレルギー対策委員会報告書(平成23年)

【アレルギー⑥】
「アレルギー」についてどんなことでもいいので自由にご記入ください。

- ・私も母もアレルギー体質なので、子どもにも引き継がれていないかが心配。子ども二人とも肌が弱く荒れることもあるので、傷口からアレルギー物質が入り込まないか心配。
- ・原因となる事項が複雑に絡み合うので、治療が難しい。なかなか完全に避けることは難しいです。
- ・一度発症するとなかなか治らないので困る
- ・子供が、アトピーなので、添加物、化学物質は、取らないよう心がけている。
- ・体質改善をしたい
- ・孫が食物アレルギーがあり対応が大変です。
- ・甘いものの取りすぎはアレルギーの誘発になると学んだが、ほとんどの食品(調味料)に砂糖が使われていて残念。
- ・子供に食べ物アレルギーがでないか心配だ。
- ・環境の悪化。(空気汚染や添加物など)でアレルギーが増えていると思います。